



東海林 剛
(民主クラブ)

財政健全化と行財政改革

問 7ヶ年の計画期間中、毎年実施した経過と結果について公表し、より丁寧な説明を行い共通理解を図るべきである。また、事務事業の取捨選択は福祉や市内経済に対する配慮も必要である。市長の基本的な考え方を伺う。

答 財政健全化の取り組み状況を積極的に公表し、理解と協力を得ながら進める。単なる予算の削減に留まるのではなく将来的な展望に立った事務事業の取捨選択と見直しを基本とする。

農村観光都市形成の事業展開は

問 市長の公約である農村観光都市形成の概念について伺いたい。また、農業と観光との融合を積極的に図るべきであり、具体的な構想を策定し、事業展開を図るべきと考えるが見解を伺う。

答 農村景観、都市との交流を図る農業体験、地元農産物の新鮮で美味しい食への関心の醸成、富良野の食材でのメニュー開発などが、農業と観光との相乗効果につながる。観光客の長期滞在から2地域居住、移住に向けた取組みを進める。農業者、観光事業者、市民が参加する計画プロジェクトの中で検討中。

広域連合の新たな価値は

問 富良野圏域として、果たして前向きな選択なのかどうか、条例審査を目前に控えた今も思い迷っている。いずれにしても圏域住民の利益を第一義として方向を定めてゆかなければならない。現行の一部事務組合が統合する広域連合が生み出す新たな価値について見解を伺う。

答 共通した事務を集約し効率化を図る事や執行機関の統合で経費の縮減を図る事ができる。一部事務組合の費用負担や職員配置などが実態に即した対応となる。広域連合によって広域的な行政課題を多面的、総合的に把握検討する事により効率的効果的な広域行政の展開が可能。



岡本 俊
(市民連合)

地方分権型の社会の実現の基本理念は

問 政府は市場原理主義の規制緩和で雇用・医療福祉・教育などの格差拡大し、国に異を唱えた岩国市のように交付金を国のさじ加減しだいで決定し、財政的手法で地方を管理し中央集権的な体制は強化されている。

答 市民の暮らしを守るためには国に問題を指摘し、是正していかなければ、地方は格差に埋没し内向きの改革を選択しなければならぬが、分権型社会の基本理念は。

答 社会情勢の変化に対応した身の丈にあつた財政を確立し自立性と自主性のある行政運営が重要で市民対話、情報提供に努め、市民と行政の役割分担を検討し、共通認識を醸成しながら自助・共助・公助の推進が分権型社会の理念と考えている。

高齢者・障がい者支援 ネットワークづくりの方向性は

問 富良野市は人間らしく安心して、のびのび暮らせる理念で地域づくりが必要です。行政の役割は大きいものがあるネットワーク形成は「課題解決型」から「目標達成型」へ転換し柔軟性で実行力のある組織体制が求められているが、組織作りは。

答 地域住民や福祉に関わる人が、主体的に地域福祉を推進することが重要である。町内会役員、民生児童委員などの人的資源、社会福祉施設などの社会的資源、企業、学校などが参加し、地域事情に応じた仕組みを推進する。

総合学習の継続への見解は

問 新学習指導要綱で総合学習の時間の削減が決定されたが今日まで築いた富良野の総合学習がなくなると危惧しているが今後の取り組みについて伺う。

答 体験学習・課題解決学習を重視し、地域の人材を活用した授業を取り入れ学校、地域が協力した取り組みを検討したい。